温泉畧記

長野縣下信濃國諏訪郡北山村字冷山の官林中に一の温泉あり抑信州地方ハ噴火山の脉絡を通ずるが故ニ諸方ニ温泉多きが中ニ此冷山乃鑛泉去る明治十年中獨逸國の博士マルチン氏の試驗を受て分拆せしに硫酸礬土加里。硫酸石灰。硫酸苦土。格魯児那篤留母。格魯児加里烏母。の氣を含有せる物にして其効能ニ至りてハ

○發疹○小瘡○頑癬○經久頑固潰瘍○黴毒性骨痛
○瘰癧○痔労○耳漏○瘰癧性慢性角膜炎
○眼瞼潰瘡○僂麻質私○佝僂病○麻痺
○感冒シ易き癖者○白帯下○月經不調

右等の病ひを癒すこと妙なれど其症ニ因て冷熱乃適量ある也此鑛泉ハ冷山の名ある故ニ温度ニ乏しきを以て焚沸して人體の度ニ適さしむ其浴室を三等に分ちぬれバ熱きもぬるきも来客乃好む所ニ従ひ宿料等も手軽を旨と苟も疎忽ニする事なければ花散初る春の暮より避暑の時節を盛とし更行秋の月も頃まで変遷る野山の景色を見るがら月日を重ねて入浴あらバ前ニ掲る効能の他にも種々の奇効ありて熱海箱根草津伊香保の名ニ負ふ温泉ニ譲らぬ迄如何なる病も全快なれバ遠きを厭ハず御来車を冀ふ

信濃國諏訪郡原村
湯本起業人 行田長右衛門 出店

京橋区南紺ヤ丁廿七番地
画工 安藤徳兵エ

信濃國諏訪郡原村